



年頭のごあいさつ

自由民主党岩手県支部連合会

会長 千葉 伝

信頼され足腰の強い県連を目指す！

新年あけましておめでとうございます。皆様には新しい年をつつがなくお迎えになられましたこととお慶び申し上げます。

昨年一年、皆様には自民党・自民党県連に対しまして、ご支援ご協力を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。昨年9月に実施された総裁選挙においては、安倍晋三総裁が再選され、第四次安倍改造内閣がスタートしたところであります。今後においては、国内、外交全般に渡る政策の推進と、特にも地方に力を注いで頂く政策を望む所であります。

さて、今年は、統一地方選があり、とりわけ岩手県連にとってはこれまで以上に重要な年であります。先ずは、7月実施予定である参議院議員選挙においては、自民党公認候補予定者 平野達男氏の勝利と、続く9月任期の岩手県知事選挙（現在、候補選定に向け模索中）と岩手県議会議員選挙（1/1現在、公認11名・推薦1名・岩手県議会第一会派を目指す）に向け、県連挙げて一致団結し、勝ち抜き、現在岩手県の抱える重要課題（東日本大震災津波の復興の仕上げ、ILCの誘致実現、台風10号被害の復旧他）の解決を目指します。その為には、県民の声に耳を傾ける日常活動の強化、党勢拡大（各種選挙への支援）、党員獲得運動の推進を図り、安全安心の確保と、希望の持てる岩手づくりに邁進して参ります。皆様には、これまで以上のご理解とご支援をお願い申し上げます。

終わりに、本年が皆様にとり、すばらしい年になりますことをお祈り申し上げます、年頭に当たってのご挨拶と致します。

ILC建設実現の要望書を官邸へ



要望書を西村官房副長官へ届けました

去る11月16日に秋田県で行われた、自民党北海道・東北ブロック幹事長会議に於いて、当県連の岩崎友一幹事長から、ILC国際リニアコライダーの東北への建設実現に向け、北海道・東北の7道県連として、共同で要望活動をしていきたい旨を提案いたしました。その後、各道県連にご賛同をいただき、12月10日に総理官邸を訪問し、自民党北海道・東北6県の道連会長・県連会長・各幹事長名で西村康稔官房副長官へ要望を行いました。当日は、代表して宮城県連から愛知治郎県連会長と石川光次郎幹事長、福島県連からは太田光秋幹事長、岩手県連からは鈴木俊一常任顧問と岩崎友一幹事長が西村官房副長官へ要望書を手渡し、北海道・東北としてILC建設実現への思いを伝えました。

12月19日に日本学術会議から文部科学省へ回答のあった「国際リニアコライダー計画の見直し案に関する所見」は、決して前向きなものとは言えませんが、科学技術立国の再興や東日本大震災津波からの復興の象徴として、日本へ誘致し、東北に建設する意義は非常に大きいことから、各道県連の理解を得ながら、政府に対し粘り強く要望活動を行ってまいります。

岩手県議会議員選挙

自由民主党 追加公認決定

○滝沢選挙区【公認】



武田 哲(54)・新
滝沢市議会議員(2期)

今年の9月10日の任期満了に伴う、岩手県議会議員選挙に向け、県連選挙対策委員会役員会で、追加公認1名が決定されました。

1/1現在、公認11名・推薦1名が決定しております。

【注】氏名、年齢、当選回数、経歴